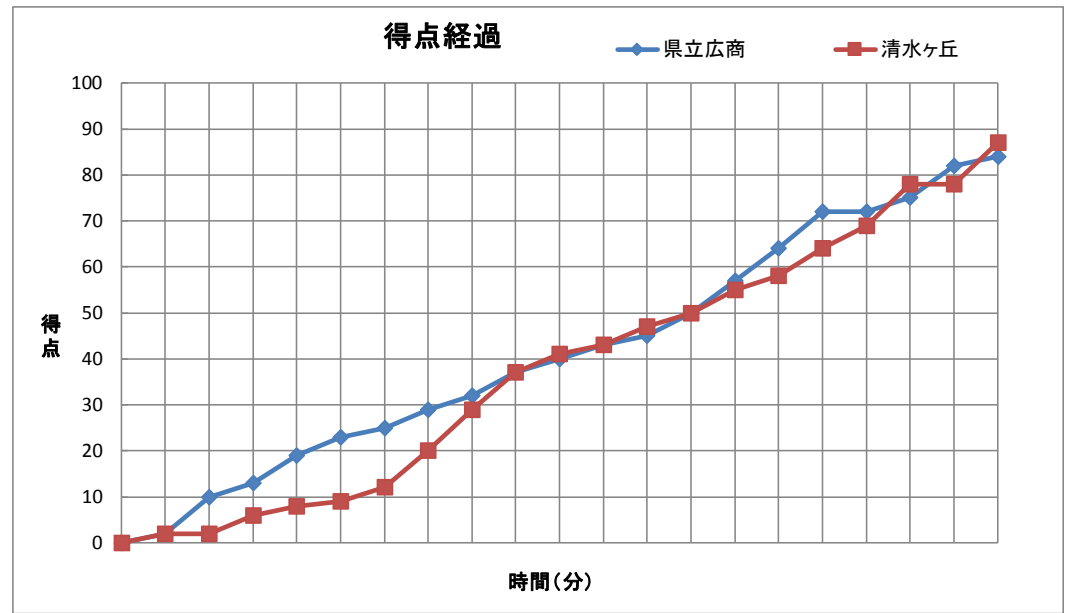




第75回広島県高等学校総合体育大会  
バスケットボールの部

個人トータル表

女子		令和4年6月5日		9:00 開始													
3位決定戦		IHIアリーナ呉		0													
県立広商	84	<table border="1"> <tr><td>23</td><td>1st</td><td>9</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>32</td></tr> <tr><td>24</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>29</td></tr> </table>	23	1st	9	17	2nd	32	24	3rd	17	20	4th	29	87	◎	清水ヶ丘
23	1st	9															
17	2nd	32															
24	3rd	17															
20	4th	29															
(広島県)			(広島県)														
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	加川 柚妃	14	0	6	2	3	* 4	藤光 音葉	37	3	8	12	1				
* 5	壽岡 里桜	11	3	1	0	1	5	小松 未羽	2	0	1	0	0				
* 6	永尾 和花	11	1	4	0	0	6	井成 花	-	-	-	-	-				
* 7	福本 采音	3	1	0	0	0	7	松浦 心春	-	-	-	-	-				
8	安田 彩恵	-	-	-	-	-	8	下原 夢乃	-	-	-	-	-				
9	野崎 想	0	0	0	0	1	* 9	住吉 舞花	20	4	4	0	3				
10	山口 真和	-	-	-	-	-	10	荒木 夏歩	-	-	-	-	-				
* 11	梅河内 爽生	4	0	2	0	5	* 11	横丸 紗也	11	2	2	1	1				
12	西山 千遥	0	0	0	0	0	12	平川 美沙	-	-	-	-	-				
13	藤原 小羽	-	-	-	-	-	* 13	仲山 志希	9	3	0	0	2				
14	宇都宮 瞳月	19	1	8	0	0	14	樽本 和香	-	-	-	-	-				
15	川原 瀬波	3	1	0	0	1	15	大嶋 美桜	-	-	-	-	-				
16	出木 未悠	-	-	-	-	-	16	三田 知優	-	-	-	-	-				
17	時永 琴	15	3	3	0	5	17	早稲田 彩湖	-	-	-	-	-				
18	小川 葵	4	0	2	0	3	* 18	新宅 真未	8	2	1	0	2				
コーチ	手島 祥平					0	コーチ	小原 健太					0				
Aコーチ	徳満 隆人						Aコーチ	林 眞優実									
合計		84	7	21	2	11	合計		87	12	15	13	7				
主審: 森原 隆																	
副審: 三島 彩																	
副審: 宮崎 拓																	



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	39:21	:	:	:
TeamB	3:54	:	36:33	:	:	:

〔戦評〕 スタート広島商業#4.5.6.7.11 清水ヶ丘#4.9.11.13.18  
 1Q:両者マンツーマンディフェンスでゲームがスタート。清水ヶ丘9番のレイアップシュートでゲームが動き出す。清水ヶ丘は3ポイントをねらうが決まらず、広商はドライブで確実に得点を重ねていく。残り6分で清水ヶ丘タイムアウト。タイムアウト後、清水ヶ丘4、13番の1対1で加点し、10-4。広商の4番がドライブ、15、6番の3ポイントで連続得点し、23-9で広商がリードで終了。  
 2Q:広商の14番のシュートからスタート。清水ヶ丘は4番のリバウンドからシュートやドライブで反撃する。残り8分、清水ヶ丘の9番のスリーポイントから流れが変わる。その後、清水ヶ丘4.14.9番の連続3ポイントシュートで29-29と同点となる。両者タイミングのよいシュートが決まり出し、譲らない展開が続く。残り2分30秒、清水ヶ丘4番のバスケットカウントで37-34となり清水ヶ丘が逆転に成功する。しかし、広商4番のドライブからシュートを決め、流れをもっていかせない。3ポイントシュートで得点を重ね、流れを掴んだ清水ヶ丘が40-41でリードし、2Q終了。  
 3Q:前半同様、両者マンツーマンディフェンスでゲームがスタート。序盤、両者シュートの打ち合いになるが、決まらず点が動かない。残り6分、広商17番のジャンプシュートで広商が45-43と点が動き出す。しかし、清水ヶ丘も9、18番の距離の長いシュートで反撃する。残り4分50-50で同点。広商は4、18番のスクリーンプレーからドライブをしかけ加点していく。清水ヶ丘は、4番を起点に得点を重ねていく。広商のリバウンドからの速攻や5番の3ポイントで確実に加点していき、64-58で広商リードで終了。  
 4Q:清水ヶ丘は4番のゴール下、11番のドライブ、広商は4、18番のスクリーンプレーで果敢に攻めていく。残り5分で清水ヶ丘13番の3ポイントで75-72と清水ヶ丘が逆転する。しかし、広商も流れを譲らずシュートを沈めていく。残り3分30秒77-78。タイムアウト後、流れをきりたい清水ヶ丘だが、広商14番のリバウンドシュート4番のドライブを決まり、流れを譲らない。残り1分30秒、清水ヶ丘11番の力強いドライブでバスケットカウントや4番フリースローで、82-85で逆転。たまたま広商タイムアウト。広商は、フルコートプレスをしかけるが、後一歩おぼろげのまま試合終了。  
 両チーム、ルーズボールやリバウンドなど気持ちが前面にでるプレーで会場を魅了した。両チームの中国大会での活躍に期待したい。

戦評: 竹内優香 記録: